



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	06-1312-5	版	12.00
発行日	2024/04/16	前発行日	2024/01/17

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

Fastbond (TM) Spray Activator #1

3M スtockナンバー

62-4446-8030-0	62-4446-8033-4	62-4446-8034-2	62-4446-8035-9	62-4446-8037-5
62-4446-8038-3	62-4446-8039-1	62-4446-8530-9	62-4446-9130-7	62-4446-9530-8
7010329887	7010291347	7000121402	7000121403	7000028593
7000121401				

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

工業用途

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル
環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H411 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P273 環境への放出を避けること。

応急措置

P391 漏出物を回収すること。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

眼の損傷/刺激性区分は試験データに基づいて実施し、この区分に該当しない。皮膚の腐食/刺激性区分は試験データに基づいて実施し、この区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	80 - 90
硫酸亜鉛	7733-02-0	15

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

応急処置は不要。症状が発現した場合には空気の新鮮な場所に移し、医療機関を受診すること。

皮膚に付着した場合

暴露した場合、石鹼と水で洗浄する。症状が発現した場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置**消火剤**

製品は燃焼しない。火災周辺に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物**物質**

一酸化炭素

二酸化炭素

硫黄酸化物

条件

燃焼中

燃焼中

燃焼中

消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入するのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。水で残さを清浄する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管

強塩基から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策**設備対策**

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具**眼の保護具**

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

化学防護手袋は不要。

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理・化学的性質**

外観	液体
色	無色
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	4.5 - 5.5
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>=100 °C
引火点	引火点なし
蒸発速度	1 [参照基準: 水=1]
引火性 (固体、ガス)	適用しない

燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気圧	<=2, 333.1 Pa [試験条件: 20 °C]
蒸気密度/相対蒸気密度	<=1 [参照基準: 空気=1]
密度	1.12 - 1.16 g/ml
比重	1.12 - 1.16 [参照基準: 水=1]
溶解度	完全に溶解する
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	適用しない
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	<=50 mPa-s [試験条件: 23 °C]
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	85 - 90 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	<=0 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値]
固形分	10 - 20 %

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

強塩基

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合が

あります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
硫酸亜鉛	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
硫酸亜鉛	経口摂取	ラット	LD50 920 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	ウサギ	わずかな刺激
硫酸亜鉛	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	ウサギ	軽度の刺激
硫酸亜鉛	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果

硫酸亜鉛	多種類の動物種	区分に該当しない。
------	---------	-----------

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
硫酸亜鉛	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
硫酸亜鉛	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
硫酸亜鉛	経口摂取	マウス	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
硫酸亜鉛	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 42.5 mg/kg/日	器官発生期
硫酸亜鉛	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	類似化合物	NOAEL 7.2 mg zinc/kg/day	
硫酸亜鉛	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	LOAEL 240 mg zinc/kg/day	30 日

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
硫酸亜鉛	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
硫酸亜鉛	吸入した場合	心臓 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 μ g zinc/m ³	16 週
硫酸亜鉛	経口摂取	内分泌系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 53.5 mg zinc/kg/day	13 週
硫酸亜鉛	経口摂取	造血器系 肝臓 腎臓および膀胱 心臓 消化管 骨、歯、爪及び/又は毛髪 免疫システム 筋肉 神経系 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 564 mg zinc/kg/day	13 週

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
硫酸亜鉛	7733-02-0	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	0.42 mg/l
硫酸亜鉛	7733-02-0	該当なし	実験	48 時間	EC50	0.099 mg/l
硫酸亜鉛	7733-02-0	液状化	実験	3 時間	EC50	12.8 mg/l
硫酸亜鉛	7733-02-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	0.104 mg/l
硫酸亜鉛	7733-02-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.15 mg/l
硫酸亜鉛	7733-02-0	珪藻	実験	72 時間	NOEC	0.05 mg/l
硫酸亜鉛	7733-02-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.012 mg/l
硫酸亜鉛	7733-02-0	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.032 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
硫酸亜鉛	7733-02-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
硫酸亜鉛	7733-02-0	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	242	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3082 環境有害物質（液体）

輸送分類（IMO）：9 その他の有害性物質

輸送分類（IATA）：9 その他の有害性物質

容器等級：III

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

化管法：第 1 種指定化学物質

船舶安全法、航空法：有害性物質

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

海洋汚染防止法：環境有害物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
硫酸亜鉛	硫酸亜鉛	適用しない	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
硫酸亜鉛	水溶性亜鉛化合物	1	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション 15：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」情報の追加.

セクション 15：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」情報の追加.

セクション 15：労働安全衛生法の表 情報の追加.

セクション 15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。